

令和4年度

第2回 学校運営協議会～はりはらの会～



4月 1年生を迎える会

令和4年6月10日（金） 午前9時10分から

浜松市立曳馬小学校

令和4年度 第2回 学校運営協議会 ～はりはらの会～

1 日 時 令和4年6月10日（金） 10時20分～11時30分

2 会 場 浜松市立曳馬小学校 多目的室

3 内 容

(9時20分～10時05分 特別の教科道德の授業参観〈各教室〉)

10時20分～11時30分 学校運営協議会〈多目的室〉

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出
- 4 熟議

①「学校支援の在り方」について（会長）

次回開催（ 第3回 学校運営委員会 ～はりはらの会～ ）

9月28日（水） 13時15分～15時30分

13時集合

13:10 参観

学校運営協議会出席者名簿

学校運営協議会委員

| | |
|----|--------|
| 委員 | 鈴木 厚 |
| 委員 | 飯尾 忠弘 |
| 委員 | 川井 啓介 |
| 委員 | 小楠 和子 |
| 委員 | 加藤 美智子 |
| 委員 | 飯尾 智弘 |
| 委員 | 池村 俊典 |
| 委員 | 中田 篤志 |
| 委員 | 丸茂 早織 |
| 委員 | 中津川 涼 |

オブザーバー

| | |
|----------|------|
| 曳馬協働センター | 瀧 尚也 |
|----------|------|

学 校

| | |
|----------|-------|
| 校 長 | 竹内 孝夫 |
| 教 頭 | 花井 清孝 |
| CS担当教職員 | 影山 重広 |
| CSディレクター | 内堀 邦子 |

浜松市教育委員会

| | |
|-------|-------|
| 教育総務課 | 鈴木 陽子 |
|-------|-------|

コミュニティスクール協力依頼

| 学 年 | 実施月 | 教科(領域) | 内 容 | 必要人数 |
|-----|------------|--------|---|---------|
| 1 年 | 5～7月 | ○生活科 | 朝顔や野菜の水掛け、草取り | 若干名 |
| | 1月 | 生活科 | 昔の遊びを子供たちに教えてもらいたい。 ・けん玉・おはじき・お手玉・あやとり・こま・めんこ など | 5～10人 |
| 2 年 | 5～11月 | 生活科 | 町たんけん 校区内の施設や店の案内 | 若干名 |
| | 5～7月 | ☆生活科 | 野菜の育て方、苗の植え方 | 若干名 |
| | 6月 | 算数科 | 長さ ものさしの読み方 使い方 | 若干名 |
| | 6・7月 | 体育科 | 水泳指導の補助 顔つけ 水慣れ | 若干名 |
| 3 年 | 9月(7月) | ☆総合 | 曳馬地域についてのお話 | 10～15人 |
| | 5～8月 | ○理科 | 学年園の水掛け、草取り | 若干名 |
| | 通年 | ☆書写 | 片付けの見届け、筆の使い方指導 | 1～3人 |
| | 6・7月 | 体育科 | プール指導の補助 | 1～3人 |
| 4 年 | 通年 | ○理科 | 学年園の水掛け、草取り | 若干名 |
| | 4月 | 音楽 | 「さくらさくら」 琴の演奏 他の和楽器の基本演奏 | 2人 |
| | 10・11月 | 社会 | のこしたいもの、つたえたいもの 地域に残る建物 芸能 祭りについて 話と建物見学 | 若干名 |
| | 12月 | ○書写 | 書き初めの指導 | 4人 |
| 5 年 | 6月下旬 9月 | ○家庭科 | ミシン(10)調理実習(5) | 15人 |
| | 7月 | 体育科 | 水泳 回泳指導・監視 | 1人 |
| | 9～10月 | 体育科 | 跳び箱 補助(できれば女性の方) | 1人 |
| | 5～8月 | ○理科 | 学年園の水掛け、草取り | 若干名 |
| 6 年 | 7～9月 | 家庭科 | ミシン 上糸下糸のかけ方 ミシンの操作、調整 | 各学級5～6人 |
| | 通年 | ○書写 | 片付けの見届け、筆の使い方指導 | 1～3人 |
| | 6月 | 総合・社会 | 校外学習 グループ活動やチェックポイント | 10人程度 |
| | 2～3月 | ☆家庭科 | ミシン 卒業に向けての取り組みの手伝い | 5人程度 |
| | 5～8月 | 理科 | 学年園の水掛け、草取り | 若干名 |

☆本年度実施予定 ○是非お願いしたい

令和4年度 第1回 曳馬小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年4月28日（木） 10時15分から11時30分まで
- 2 開催場所 曳馬小学校 多目的室
- 3 出席委員 鈴木 厚、飯尾 忠弘、川井 啓介、小楠 和子、加藤美智子、
飯尾 智弘、池村 俊典、丸茂 早織、中津川 涼
- 4 欠席委員 中田 篤志
- 5 学校 竹内 孝夫（校長）、花井 清孝（教頭）、影山 重広（CS担当）
内堀 邦子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 協議事項
 - (1) 会長の選出及び副会長の指名について
 - (2) 議長の選出について
 - (3) 会議内容
 - ①「令和4年度学校運営の基本方針」について（校長）
 - ②「学校支援の在り方」について（影山）
 - ③「夢育やらまいか事業」について（教頭）
- 8 会議録作成者 CSディレクター 内堀 邦子
- 9 会議記録

司会の花井清孝（教頭）から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

また、司会から池村俊典委員を会議録署名人に推挙したい旨の説明があり、全員異議なくこれを選出した。

(1) 運営協議会について

現在浜松市立小中学校 144 校中 130 校がコミュニティ・スクールとなり、125 協議会（小中合同が5校）ができた。

学校経営のパートナーとして一緒に頑張ってもらいたい。

毎年の学校評価を元に当事者となって学校運営の改善案と一緒に検討してもらいたい。

委員の皆さまのバックボーンやネットワークを活かし、協議会をさらによくしてもらいたい。（鈴木陽子）

(2) 会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、池村委員から 鈴木厚委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された 鈴木厚会長から、飯尾忠弘委員を副会長に指名する旨の報告があった。

(3) 議長の選出について

司会から、議長は、鈴木厚委員を会長に推挙する旨へ意見を求めたところ、全員異議なくこれを承認した。

(4) 熟議内容について

①令和4年度学校運営の基本方針について

竹内孝夫(校長)から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針について説明があった。学校経営の基本方針は昨年の(夢を持って高め合いたくましく生きようとする子)を育てる方針を継続していく。

重点目標である「児童の主体性・協働性を育むために自己肯定感と伝え合う力を高める」ために以下のことを行っている。

- ・たんぽぽ、ひまわりなどの適応教室フロアを作り、教室に入れられない子一人一人の居場所を作る。
- ・授業の振り返りの時間を作り、授業で自己肯定感を高める。
- ・コロナ禍3年目になり、マスクの弊害で伝える力が全国的に下がっている。曳馬小学校は国語に力を入れてきた。伝え合う力を高めていくため、教育委員会の指導のもとICT支援によりタブレットを活用した教育を推進し伝える力を高めていく教育を補っていけるようにする。

- ・曳馬小学校の教育方針に同意して、皆で協力していきたい。
本年度の重点、教育課題、学校目標、重点目標など目標や解決課題が多くある。解決に向けて、地域としてどのように関わって良いか、いろいろな立場から意見をいただきたい。(鈴木委員)

- ・現在教室に入れられない子は何人いるのか。(加藤委員)
- ・昨年度は該当児童が多数いたが、4月当初は新学期と言うこともあり全員教室に入ることができた。時間の経過と共にだんだん入れられない子が出てきて、4~5人いる。昨年度のパソコンルームを適応教室に作り替え対応している。
適応教室があるということで、昨年度まで全く登校できなかった生徒が登校し始め、書き取りを「楽しい」と言って勉強し、「給食もここで食べるのかな、楽しみ」といったことがあった。
集団での授業に適應できない子にも対応していきたい。(花井教頭)

- ・取り出し授業も行っているのか。(加藤委員)
- ・取り出し授業を行っている。(花井教頭)

- ・経営構想に立ち返りながら、それぞれの立場や経験から今後も意見を出してもらいたい。(厚会長)

- ・タブレットの活用について、現状どのようになっているのか。1人1台導入されているのか、個人情報やタブレットの管理はどのように行っているのか。(池村委員)
- ・個人1人1台導入し、タブレットは学校の教室近くの保管庫で管理している。アドレスやナンバーは教育委員会が管理している。教育以外は使えないアドレスなので、インターネットショッピングやメールなどには使えない。情報モラルの勉強も含め

情報担当や遠鉄システムの方の協力のもと、現在、教職員もタブレット活用法を勉強している。(影山主幹教諭)

・昨年上島小も担当していた。コロナ禍の参観会はタブレットを使ってリモート参観会を行っていた。(池村委員)

・曳馬小も市内で初めてオンラインで参観会を行った。タブレットは子供のものであり、現在は保護者が使用することが認められていない。そのため、今後タブレットを使ったりリモート参観は難しい。(影山主幹教諭)

・タブレットは何年生から使っているのか。(川井委員)

・1年生から授業で使っている。1年生のアサガオの観察の授業で写真をとったりしてタブレットを使用している。(影山主幹教諭)

・児童はタブレットを自宅に毎日持って帰っているのか。(厚会長)

・タブレットの持ち帰りはしていない。(影山主幹教諭)

・重点目標の中に自己有用感とかがかかっているが、自己肯定感と同じ意味なのか。(池村委員)

・自己有用感 他者との関わりの中で自分が必要とされていること。子供のほめ方として、子供のこんなことで貢献出来ましたと言ってほめて認めるというのが自己有用感なので、自己肯定感と若干ニュアンスが違う。(竹内校長)

以上、学校からの令和4年度学校経営構想の説明は理解していただいたということ、全員異議なく承認した。

今後この経営構想に立ち返りながら、それぞれの立場で熟議を重ねていく。(厚会長)

②学校評価報告書についての説明(影山主幹教諭)

昨年度から始まったコミュニティ・スクールの活動は学校経営方針に則って、授業を支えていただけてとてもありがたかった。活動がお手伝いではなく主体的に活動していただけた。

・昨年度CS協力依頼書が具体的に作成されたことにより、熟議の内容が進んだ。

今年度の協力依頼書は昨年度のものを元に検討していく。(厚会長)

・コーディネーターは3校担当しているが、曳馬小学校の現状はどうか。(飯尾忠弘委員)

・協力内容が具体的にまとまっていて進んでいる。(池村委員)

・協力内容の中の水やりについて、アドバイザーから意見をいただきたい。

(瀧アドバイザー)

・上島小学校は夏休み中の花壇の水やりは先生が行っている現状がある。(池村委員)

・花の会の方たちは、子供と関わっての活動を希望している。(瀧アドバイザー)

・2年生の野菜の育て方や苗の植え方などは活動として適している。(池村委員)

- ・教職員からの協力依頼の希望内容は、現在はお手伝い要素が強い。(影山主幹教諭)
- ・曳馬協働センターの裏に小さな花壇がある。その花壇に中学生と芋を植えた。子供と一緒に学びたいという花の会の活動。(瀧アドバイザー)
- ・花の会の方々は非常に高い意識と技量をもっている。昨年ポットに植えたパンジーの苗を小学校に寄付し花壇に植えてもらった。ポットで栽培したパンジーを地植えする際の植え替え方がわかっていなかった。花の会の方から指導があったら、教室以外の勉強が進むのではないか。(飯尾智弘委員)
- ・先日クローズアップ現代という番組で、先生方の長時間労働問題について取り上げていた。学校にコーディネーターの方がいて、地域の方と連携して野菜の植え方から草取り、収穫までを子供とともにしている場面があった。まさに、CS活動だと思った。先程の休み中に草取りを先生方が担っている話をきいて、この番組内容は、先生方の労働時間軽減問題や先生が生徒への関わり時間の充実強化や地域の活動活性化に繋がる活動の良い例だと思った。(丸茂委員)
- ・3年生の「曳馬地域についてのお話」の活動を行っているが、地域の方々は子供と直に関わりがあり、楽しんでいる。子供と関わりがある活動が大切。この活動はこの学校の伝統で続いているのは良い。(飯尾忠弘委員)
- ・昨年、6年生を送る会において6年生から学校へ送るピアノカバー製作の協力をを行った。子供たちは予想以上にミシンを使うことができていた。ミシンの指導が充実していることがわかった。とても楽しかった。(飯尾智弘委員)
- ・今年度もこの2つの協力依頼「曳馬地域についてのお話」と「卒業制作」はまたお願いしたい。今年はコーディネーターも入って進めていけば、継続した活動が行えるのではないか。(影山主幹教諭)
- ・この地域の大学生の協力について瀧アドバイザーから提案があった。事前申し込みをする必要があるなど課題はあるが、初めての書道指導や書き初めの指導など協力ができるのではと考えている。今年すぐにできるとはいかないが、関係を作って活動につなげていきたい。(池村委員)
- ・CS活動にはPTAの協力が必要。花の水やりなどの活動協力は得られるか。(池村委員)
- ・現在環境委員がいて、夏休みの土日の週1日水やりは担当しているが、雑草だけの場所、真夏週1頻度の水やりは不適切、検討の余地がある。(丸茂委員)
- ・学校から具体的な要望があれば、PTAから保護者に向けボランティア募集を掛けることはできる。(中津川委員)

教室以外にも学びの場がある。例えば、花の水やりを通して、花の大切さや花の弱さ、根強さなどいろいろなことを学ぶことができる。そこが大切なことであり、そのことに関われることは地域の人としてもうれしい。教室以外の学びの場では地域の力を使って、教師が専門的な指導により専念できるように連携し、地域の子供たちを育てる架け橋の役割を担ってお手伝いしていきたい。(厚会長)

③「夢育やらまいか事業」について

この事業の目的は、子供たちの夢や希望をはぐくみグランドデザイン(学校経営方針)の具現化につながる浜松市立曳馬小学校の教育活動を補完することで、地域全体での学校づくりを推進していく事業。

花井教頭から、「夢育やらまいか事業」について説明があり、予算は講師の謝礼等として有効に使う予定。

- ・現在、旗振りのボランティアを継続するため、週1参加や謝礼を渡すなど環境を整えて継続が可能になっている。時代に合った環境を整えるのは必要なことだ。

(厚会長)

「夢育やらまいか事業」について協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

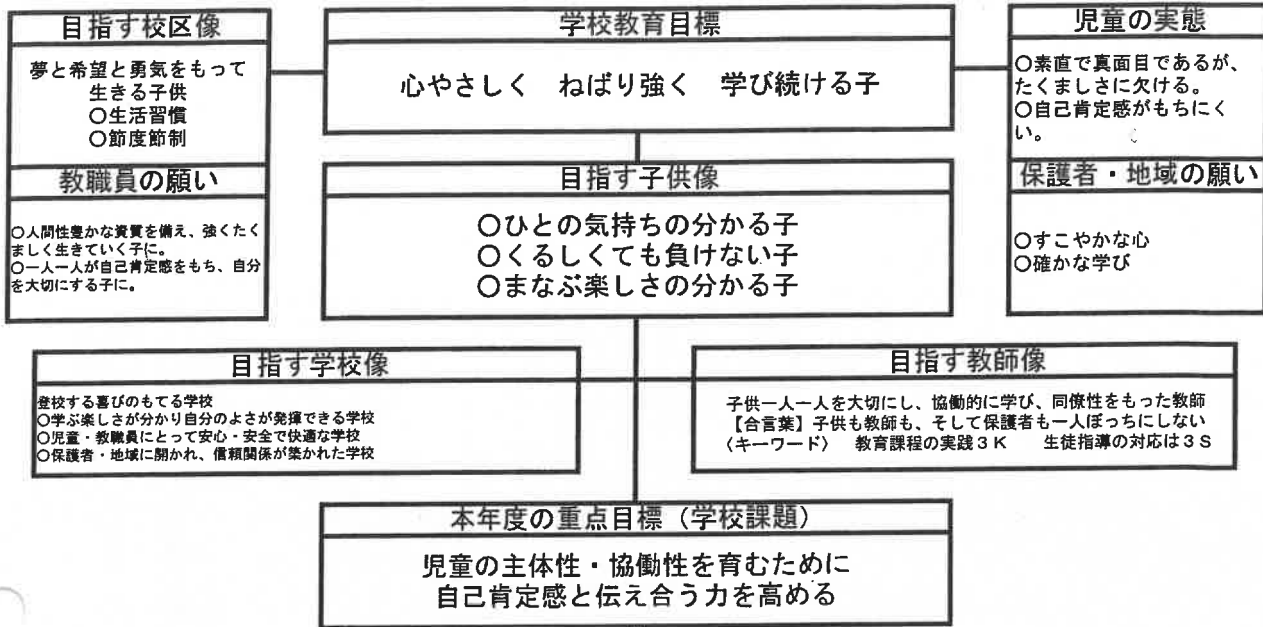
その他

- ・新1年生通学途中に転んだときに周りの子供たちが助けていた。
また、春休み中に新1年生が通学練習をしている姿が多くみられた。素晴らしい曳馬小学校だと思った。これらの素晴らしいことを子供たちに伝えたい。(加藤委員)
- ・令和3年学校評価で指摘があった学校ブログに給食の写真ばかりというところが、4月から改善されて、子供の活動写真が多くなってよかった。(飯尾智弘委員)
- ・運営協議会の資料は10日～14日前に送付して欲しい。(厚会長)

その他連絡事項等

花井清孝教頭から、次回会議は、令和4年6月10日(金)午前9時から各学級の授業参観をし、参観後、10時20分から多目的室にて、第2回の学校運営協議会を開催する旨の連絡があった。

令和4年度 曳馬小学校 キャリア教育全体計画



| キャリア教育の全体目標(各校で定めるキャリア教育の目標) | | | |
|---|---|---|---|
| 他者との関わりを通して、自分らしさに気づき、夢や目標に向かって自ら努力できる子供を育てる。 | | | |
| 育成すべき能力や態度(基礎的・汎用的能力) | | | |
| (人間関係形成・社会形成能力) | (自己理解・自己管理能力) | (課題対応能力) | (キャリアプランニング能力) |
| 人の気持ちの分かる子 | 苦しくても負けない子 | 学ぶ楽しさの分かる子 | これからを描く子 |
| <ul style="list-style-type: none"> 他者の個性を理解する能力 他者に働きかける力 コミュニケーションスキル チームワーク | <ul style="list-style-type: none"> 自己の役割理解 前向きに考える力 自己の動機づけ 忍耐力 | <ul style="list-style-type: none"> 情報の理解・選択・処理等 原因の追及 課題発見 計画立案 実行力 評価・改善 | <ul style="list-style-type: none"> 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 多様性の理解 将来設計 行動・改善 |

各教科

- 自分自身や身近な人々、社会に関心を高める学習を展開する。
- 協働的な学習活動で社会性を培う。
- 各教科での学習と日常生活や将来の生き方との関連に気づかせ、互いに学び合える態度を育む。

道徳

- 約束や決まりを守り、やらなければならないことをしっかり行えるようにする。
- 関わり合う体験を大切に時間を設定する。
- 自己肯定感や夢、希望をもてる心を育てる。

| 目指す姿 | |
|---|--|
| 高学年 【6年生】 ひ：相手の考えや立場を理解し、協力して働きかけることができる。 く：自分の長所や役割を理解し、自ら積極的に行動し、自分を成長させるために学ぶことができる。 ま：身の回りや学校生活の中の課題を見付け、その解決のための道筋を考え行動することができる。 こ：自分が果たすべき役割から、働くことの意義を理解し、最適な方法を考えて未来に向けて取り組むことができる。 | 中学年 【5年生】 ひ：人の考えや思いを聴き、協力して活動に取り組むことができる。 く：自分らしさを生かして、目標に向かって前向きに行動することができる。 ま：学びや生活の課題を見付け、よりよい解決のための方法を考え実行することができる。 こ：なりたいたい自分のイメージをもち、学びや経験をどのように生かしていくかを考えることができる。 |
| 【4年生】 ひ：友達や考えや思いを理解し、協力して活動に取り組むことができる。 く：自分の良さや課題に気づき、目標に向かって、進んで取り組むことができる。 ま：課題を見付け、解決のために最後までやり通すことができる。 こ：学習と将来の生活の関係に気づき、自分から進んで活動できる。 | 【3年生】 ひ：友だちとなかよくし、みとめ合ったり、はげましたりすることができる。 く：自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んでとりくむことができる。 ま：かたがいけいにつむけた見通しをもち、学習や活動に取り組むことができる。 こ：学習していることが日々の生活に生かせることに気づく。 |
| 低学年 【2年生】 ひ：友だちとなかよくし、自分の思いをみんなの前で話すことができる。 く：自分のよさを見つける。生活のまきりをもてるようになる。 ま：しゅくだいやかかりのしごとなど、自分がやらなければならないことをしっかりとこなすことができる。 こ：いえの手つだいなど、はたらくことにきょうみをもち、すすんでとりくむことができる。 | 【1年生】 ひ：友達と仲良くしたり、あいさつや返事をしたりすることができる。 く：好きなことやしたいことに自分から取り組むことができる。 ま：自分のやらなければならないことをしっかりと、行うことができる。 こ：係・当番の仕事や家の手伝いなどにしっかりと取り組むことができる。 |
| ひかりのぞみ ひ：友達となかよくし、自分の気持ちや考えを友達に伝えることができる。 く：時間や決まりを守り、自分のすべきことを最後まで行うことができる。 ま：自分のよさや課題に気づき、目標に向かって、できることを増やしていく。 こ：自分に合った取り組み方があることを知り、今できることに進んで取り組むことができる。 | |

総合的な学習の時間

- 探究的な活動を通して、暮らしや生き方を学ぶ機会を設ける。
- 体験活動を取り入れ、地域社会に関わる喜びやものづくりの楽しさを実感できるようにする。

特別活動

- 協力し合える人間関係を築く態度を育てる。
- 自発的な活動への欲求の高まりを生かす。
- 異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする態度を育てる。

だい1がくねん
きやりあきよういく
ねんかんけいかく

めさず
すがた

- ひ ①ひとのきもちのわかるこ
- く ②くるしくてもまけないこ
- ま ③まなぶたのしさのわかるこ
- こ ④これからをえがくこ

ともだちとなかよくしよう。
なんでもちやれんじしよう。

じぶんのすきなこととよくいなることをみつけよう。
いろいろなることをたのしもう。つづけてみよう。

| | 4がつ | 5がつ | 6がつ | 7がつ | 9がつ | 10がつ | 11がつ | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----------|---|---------------------------------------|-----|---|---|---|--|---|---|----|---|
| にちじょう | おもしろいやりタイム・おもしろいやりカード | | | | | | | | | | |
| きょうか | せいかつ「がっこうだいきょうしょうがっこうのことをしろう。」 こ | せいかつ「きれいにさいてね」あさがおそぞだてよう。 ま こ | | | こくご「ともだちのこと、しらせよう」 ともだちのほなしをよよくききあおう。 ひ | | せいかつ「じぶんのできるよじぶんでできることをつづけよう。」 こ | | こくご「いいこといっぱい、1年生」 1年生をふりかえり、はなしたりしろう。 く こ | | |
| どうとく | 「たのしいがっこう」 みんなでのしくすごすために、たいせいなことはどんなことかな。 く | 「わたしのよいところ」 じぶんのよいところをみつづけよう。 ま | | 「いっしょにえらう」 ともだちともうとなかよくなるために、どんなことをしていききたいかな。 ひ | | 「おふるほせうじ」 じぶんはどんなしごとができるかな。どんなきもちでやっていたらいいかな。 こ | 「おとうさんありがとう」 いえやクラスのなかで、どんな「ありがとう」があるかな。 ひ | | | | |
| とくべつかつどう | 「べあかつどう」 6ねんせいや2ねんせいとべあかつどうをしろう。 ひ こ | | | ぜんきのふりかえり じぶんががんばったことはなにか。おもいだしてみよう。 く こ | | | | | | | 学年のふりかえり 1年かんのふりかえり、2年生にむけてのもくひようをもちろう。 く こ |
| きょうじ | 1ねんせいをむかえるかい 6ねんせいとなかよくしろう。 ひ | | | 「うんどうかい」 みんなできようりよくしながら、なかよくうんどうかいにとりこもう。 ひ く こ | | | | 「あそびはつびようかい」 クラスや学年のみんなとあそびようりよくして、よりよいあそびようをしろう。 ひ く | | | |

かかりかづどう ひくまこ クラスをよりよくするほうをかんがえてやってみよう。

第2学年 キャリア教育 年間計画

- めざすすがた
- ① 人の気もちの分かる子 友だちとなかよくし、自分の思いをみんなの前で話すことができる。
 - ② くるしくもまけない子 自分のよさを見つける。生活のきまりをまもることができる。
 - ③ 学ぶ楽しさのわかる子 しゅくだいやかかりのしごとなど、自分がやらなければならないことをしゅっかりとおこなうことができる。
 - ④ これからをえがく子 いえの手つだいなど、はたらくことにきょうみをもち、すすんでとりくむことができる。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|------------|--------------------------------|--|--|--|--|---|--|--------------------------------|----|--|
| 目次 | 思いやりカード ひく | | | | | | | | | | |
| 教科等 | | 生活科「1年生をむかえよう」1年生に校内をあんないする。 ひ | 生活科「どきどきわくわくまちなけん」自分たちのまちのよさを真付ける。 ひこ | 算数科「かけ算」これからの学習で大切な九九を正しくりかいし、おぼえる。 ひこ | 国語科「おもちゃの作り方をせつめいしよう」分かりやすくせつめいするたのめくふをつかって、文しようを書く。 ひ | 生活科「うごくうわしたしのおもちや」1年生を秋のフェスティバルへしようたいする。 ひくま | 国語科「あしたへジャンプ」自分のせいちようをふりかえり、あたらしいもくひようをもつ。 ひく | 国語科「楽しかったよ2年生」1年間をふりかえり、自分のがんばりやともだちとのかかわりに気づく。 ひま | | | |
| 道徳 | | | いのちの日、道とく科「今のほく、くかしのほく」「せい長かいだん」せいめいのとうよとせについで考える。 ひ | | | | 「とおるさんのゆめ」友だちとのかかわりとおして、自分のよいところを見つかる。 ひく | | | | |
| 特別活動 | | キャリアオリエンテーション キャリアパスポート | | | せんきのふりかえり自分ががんばったこととは何か、思い出してみる。 ひく | | | | | | 学年のふりかえり1年間をふりかえり、3年生にむけてのもくひようをもつ。 ひく |
| 学校行事 | | | | | | 「うんどう会」みんなできょうかしながら、もくひようをもつて取り組む。 ひま | 「学習はっぴよう会」学級・学年できょう力しながら、もくひようをもつて取り組む。 ひま | | 「6年生をおくる会」6年生にかんしやの気もちをつたえる。 ひ | | |

クラスの中のやくわり(かかりのしごと) ○学きゆうをよりよくする方ほうを考え、じっせんする。 ひくまこ

第3学年 キャリア教育 年間計画

- 目指す姿
- ひ ①人の気持ちの分かる子 友だちとなかよくし、みとめ合ったり、はげましたりすることができる。
 - く ②苦しくても負けない子 自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んでとりくむことができる。
 - ま ③学ぶ楽しさの分かる子 かいがいけつにむけた見通しをもち、学習や活動に取り組むことができる。
 - こ ④これからをえがく子 学習していることが日々の生活に生かせることに気づく。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|------|---|--|---|----|--|---|---|---|----|---|---|-----|
| 日常 | 思いやりカード | | | | | | | | | | | |
| 教科等 | | 国語 「もつと知りた い、友だちのこ と」 知りたいことを 考えて、しつも んする。 ひ | 理科 「ゴムの力風の力」 ゴムの伸ばし方と草 の進み方にどんな関 係があるのか予想を 立て、実験をして確 かめる。 ま | | 国語 「山小屋で三日 間すごすなら」 目的におおじて 話し合い方をえ らび、対話の練 習を。 ひ、ま | 国語 「ちいちゃん のかけおくり」 ちいちゃんの気 持ちになって、考 えを。 ひ | | 社会（校外学 習） 「工場の仕事」 工場の仕事をく ふうや苦ろうが 分かる。 こ | | 国語 「わたしたち の学校じま ん」 つたえたいこ とを、理由を あげて話す。 ま | | |
| はりはら | | 「曳馬のひみつを見つつけよう1」 地いきを歩いたり、ゲストティーチャーの話を聞いたりして、曳馬の丸 ま まきしや学校の様子を調べ、新聞にまとめる。 | | | | | | | | | | |
| 道徳 | | 「わたしたちの『わ』」 本当の親切とは何 かを考える。 ひ | | | 「ぼくらしさってな んだらう」 自分らしさを見つけ のぼしていくことの よさを考える。 く | | | 「びっかびか」 みんなのために はたらくことの考 えを。 こ | | | | |
| 特別活動 | オリエンテーション キャリア教育の年間 計画を知り、3年生 で目指す自分を想を うし、めあてを決め る。 キャリパス | | | | ふり返り 前期の自分をふ り返し、めあて や取り組む内よ うの見直しをす る。 キャリパス | | | | | | ふり返り 1年間の自分を 思い出し、目指 す自分にどれだけ 近づいたかを ふり返り。 キャリパス | く こ |
| 学校行事 | 係活動 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 運動会 よりよい運動会に するために、でき ることを考え、友 だちと力を合わせ て練習する。 キャリパス | クラブについ て知ろう クラブ活動を 見学し、自分 に合った活動 を考える。 く | 学習発表会 学年・学年できよ う力し、よりよい 発表会にするため に自分の役わりを 考えて活動する。 キャリパス | | 6年生を送る会 6年生に「あり がとう」の気持 ちをつたえる。 ひ | | |

第4学年 キャリア教育 年間計画

- 目指す姿
- ①人の気持ちの分かる子 友達の思いや考えを理解し、協力して活動に取り組むことができる。
 - ②苦しくても負けない子 自分の良さや課題に気付き、目標に向かって、進んで取り組むことができる。
 - ③学ぶ楽しさの分かる子 課題を見付け、解決のために最後までやり通すことができる。
 - ④これからはがく子 学習と将来の生活の關係に気付き、自分から進んで活動できる。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|------|---|---|--|---------------------------------------|---|--|--|---|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 日常 | 思いやりカード ひ | | | | | | | | | | | |
| 教科等 | | 社会 「住みよいくらしをつくる」 公共のために働く人の思いを知る。 こ | 社会 「きょう土の伝統・文化と先人たちの思いを知る。」 地いきのために力をたくした先人の思いを知る。 こ | 国語 「あなたならどういう」 よりよい対話の方法を考える。 ひ | 国語 「クラスみんなに決めるには」 よりよい話し合いの進め方考える。 ひま | 国語 「共に生きる1」 ユニバーサルデザイン講座やきっかけとし、身近なユニバーサルデザインを調べ、新聞にまとめる。 ひま | 国語 「共に生きる2」 車いすや白杖などの体験活動をきっかけとし、いろいろな人がくらしやすいように作られた仕組みや物について調べる。 ひくま | 図工 「ハッピーカード」 お世話になった人にお礼の手紙を書く。 ひ | | | | |
| 道徳 | 「かっこいいせなか」 みんなのために、自分ができきる仕事について考える。 こ | | | | 「わかってくれてありがとう」 自分の考えも相手の考えも大切にすることのよさを考える。 ひ | | | 「ゆめに向かって泳ぐ」 目標に向かってねばり強く取り組んでいることを考える。 ひ | 「ゆめは世界一のプロ野球マスコット」 自分の持ちようや良さについて考える。 ひ | | | |
| 特別活動 | オリエンテーション キャリア教育の年間計画を知り、なりたい自分とそれのために取り組むことを考え、目標を立てる。 ひま | お楽しみ会 学級の絆を深めるイベントの計画を立案する。 ひま | オリエンテーション 前期の自分をふり返り、目標や取り組む内容の修正を行う。 ひま | オリエンテーション 学級の絆を深めるイベントの計画を立案する。 ひま | オリエンテーション 前期の自分をふり返り、目標や取り組む内容の修正を行う。 ひま | オリエンテーション 学級の絆を深めるイベントの計画を立案する。 ひま | オリエンテーション 学級の絆を深めるイベントの計画を立案する。 ひま | オリエンテーション 学級の絆を深めるイベントの計画を立案する。 ひま | オリエンテーション 学級の絆を深めるイベントの計画を立案する。 ひま | オリエンテーション 学級の絆を深めるイベントの計画を立案する。 ひま | オリエンテーション 学級の絆を深めるイベントの計画を立案する。 ひま | オリエンテーション 学級の絆を深めるイベントの計画を立案する。 ひま |
| 学校行事 | 関係活動 ひくまこ | | | | | | | | | | | |
| | 運動会 目標達成のために取り組むことを考え、友達と協力し合って練習する。 ひく | | | | | | | | | | | |
| | 学習発表会 よりよい発表会にするために取り組み、友達と協力し合って練習する。 ひく | | | | | | | | | | | |
| | 6年生を送る会 6年生に感謝の思いを伝える。 ひ | | | | | | | | | | | |

第5学年 キャリア教育 年間計画

目指す姿

- ひ ①人の気持ちが分かる子 人の考えや思いを聴き、協力して活動に取り組むことができる。
- く ②苦しくても負けない子 自分らしさを生かして、目標に向かって前向きに行動することができる。
- ま ③学ぶ楽しさが分かる子 学びや生活の課題を見つけ、よりよい解決のための方法を考え実行することができる。
- こ ④これからをえがく子 なりたい自分のイメージをもち、学びや経験をどのように生かしていくかを考えることができる。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|------------------|--|---|---|---|---|---|-----|-----|----|----|----|--|
| 日常 | 思いやりカード ひ | | | | | | | | | | | |
| 教科等 | 算数 「2つに分けよう」 形も面積も均等に分割 する方法を考え、話し 合いながら問題を解決 する。 ま | 国語 「みんなが過ごしやすい町へ」 生活を豊かにしている身の回り の工夫について考え、引用した り、図表やグラフを用いたりし て、筋道の通った文章を書く。 ひ ま こ | 国語 「よりよい学校生 活のために」 互いの立場や意図 を明確にして、議 題に沿って話し合 う。 ひ ま | 社会 「情報を生かすわ たしたち」 議歩を活用して、 生活をより豊かに するための手段を 考え、話し合う。 ひ ま こ | 国語 「提案しよう、言 葉とわたしたち」 言葉の遣い方につ いて考えて、提案 内容を決めて、工 夫してスピーチす る。 ひ ま こ | | | | | | | |
| は り は ら | 「守ろう環境 大切にしよう わたしたちの奥馬」 浜松市役所の方から環境の大切さについて学び、環境活動に生かし、未来の地球環境の在り方について考える。 ひ く ま こ | | | | | | | | | | | |
| 道徳 | 「ロレンゾの友達」 考え方の違いについて話し合い、 相手の立場になって物事を考え ること、で、友情を深めていく。 ひ | | | | | | | | | | | |
| 特別活動 | オリエンテーション キャリア教育の年間計画を知っ たり、進級した喜びを一層高め、 めあてを決めたりする。 キャリアパス く こ | 「新幹線開業物語」 多くの困難に直面しながらも、 努力することの大切さについて 考え、物事をやりぬこうとする。 く | 「6年生を送る会」 協力して準備したり相手を喜ばせるための 手段を考えたりして、6年生に感謝の気持ち を伝える。 ひ ま | 「二億人を救った科学書—大村智一—」 登場人物の探求心について考えて、好 奇心や疑問をもつことの大切さに気付 き、物事を探究しようとする。 ま | ふり返り 前期の自分を振り返り、目 標や取り組み 内容の修正を行う。 キャリアパス く こ | ふり返り 1年間の自分を振り返り、最 高学年に向 けて目標をもつ。 キャリアパス く こ | | | | | | |
| | 環境活動 ひ く ま こ | | | | | | | | | | | |
| | 係活動 ひ く ま こ | | | | | | | | | | | |
| 学校行事 | 林間学校 非日常な生活を 通して、仲間 の大切さや自 己の成長など を感じる。 キャリアパス ひ く ま | 30分間回泳 苦しくてもあ きらめずに目 標に向かって 頑張る。 キャリアパス ひ く ま | 運動会 みんなが協力 しながら、よ りよい運動会 のために役 割を考えなが ら活動する。 キャリアパス ひ く こ | 学習発表会 学年・半年で 協力し、よ りよい発表会 にするため に役割を考え て活動する。 キャリアパス ひ く | | | | | | | | |

ひかり・のぞみ キャリア教育 年間計画

- 目指す姿
- ひ ①人の気持ちの分かる力 友達となかよくし、自分の気持ちや考えを友達に伝えることができる。
 - く ②苦しくても負けない力 時間や決まりを守り、自分のすべきことを最後まで行うことができる。
 - ま ③学ぶ楽しさの分かる力 自分のよさや課題に気づき、目標に向かって、できることを増やしていく。
 - こ ④これからのえがく子 自分に合った取り組み方があることを知り、今でできることに進んで取り組むことができる。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|--------|---|--|---|---|--|--|--|-----|----------------------------|-----------------------------------|---|--|
| 日常 | 思いやりカード ひ | | | | | | | | | | | |
| 教科等 | | | | | | | | | | | | |
| はら | | | | | | | | | | | | |
| 道徳 | | | | | | | | | | | | |
| 自立生活単元 | | 野菜の世話① 水やり、雑草抜きなど、自分の仕事を行う。 く ま | 野菜の世話② 野菜をよりよく育てるためにはどうにか考える。 ま こ | 野菜パーティー きまりや順番を守って、協力して調理をする。 ひ ま | | 冬野菜の世話① 水やり、雑草抜きなど、自分の仕事を行う。 く ま | 冬野菜の世話② 野菜をよりよく育てるためにはどうしたらいいのかが考えられる。 く ま こ | | 冬野菜の世話③ 野菜を収穫する。 ひ こ | | お別れ会をしよう 仲良く楽しい会にするために、できることを考える。それぞれの自分らしさを認め合う。 ひ こ | |
| 特別活動 | オリエンテーション キャリア教育の年間計画を知ったり、進級した喜びを味わうためのあそびを決めたりする。 キャリアパス く こ | 校外学習 ひかり・のぞみ学級の友達と、仲良く、協力して行動する。 キャリアパス ひ く こ | | | オリエンテーション 前期の自分を振り返り目標や取り組む内容の修正を行う。 キャリアパス く こ | | | | | | オリエンテーション 1年間の自分を振り返り、次年度に向けて目標をもつ。 キャリアパス く こ | |
| 学校行事 | 1年生を迎える会 ペア活動で、適切な関わり方を考える。 ひ こ | | | | 運動会 交流学級の友達と一緒に行動する。 キャリアパス ひ く こ | | 学習発表会 自分の役割を果たしたり、友達と協力したりする。 キャリアパス ひ く | | | 6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを伝える。 ひ こ | | |

各学年の年計を基本とするが、子供の実態に合わせて指導内容を変える。